



ヒラタアブ

# 見沼自然散策

2019.4.18



ツバメシジミ

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



タチツボスミレ



ノウルシ



ピロードツリアブ



綿毛は高く掲げる

←春、距の中や花の奥に蜜をためる植物たち。スミレも、ムラサキケマンもホトケノザも、口物の長いピロードツリアブのような虫を待っている

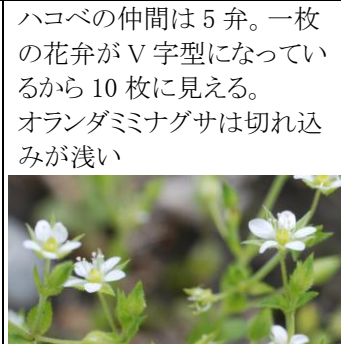
→黄色くなるのは花ではなく、花の周囲の葉。花は杯のような苞の中から直接メシベを出し、受粉が済んで実が大きくなると、横に倒れて出る



トウダイグサ



ウシハコベとハコベ



ミノツツリは切れ込みなし

ハコベの仲間は5弁。一枚の花弁がV字型になっているから10枚に見える。オランダミミナグサは切れ込みが浅い



オランダミミナグサ



ノミノフスマ



カスマグサ



スズメノエンドウ

カラスノエンドウにきているのはナナホシテントウの幼虫。好物はアブラムシ。

カラスより小さいからスズメ。カラスとスズメの間だからカスマグサ。花の大きさも色も、豆の数も中間。←



カラスノエンドウ



ヤマブキ



ドウダンツツジ

←ドウダンツツジの花は下向き。虫は花にぶら下がって蜜を吸う。花のふちが丸く反っているのは虫の足掛かり。

カエデの花は小さい。葉が光っているのは樹液がにじみだしているから。樹液は甘いから、虫が集まる。→



カエデ